

好評につき、第4弾!!

オフィス用回転椅子 -安定性、強度及び耐久性の試験方法-



ボーケンは、「JIS S 1206オフィス用回転椅子」の試験を実施しております。その中で「前縁安定性」、「前方安定性」、「肘掛けのない椅子の側方安定性」、「背もたれ傾斜機能付き椅子の後方安定性」を紹介します。

再発見！試験機 JIS S 1206

前縁安定性

支点にストッパを使用せずに、椅子にストラップを取り付ける。力が転倒回転軸から最も離れた座の前縁上の点に加わるようにして、おもり(※1)が自由につり下がるようにする。



	附属書JA	附属書A
※1	22kg	27kg

肘掛けのない椅子の側方安定性

椅子を1つの側面の隣り合った2つの支点にストッパを当てて設置する。

安定性試験のための負荷装置でストッパを当てた支点に最も近い側の座面の構造物の縁から60mmの位置に垂直力F1(※3)を転倒をもたらし可能性が最大の点に加える。垂直の力が加えられる座面表面上の点から外側に横向き水平力F2(※3)を少なくとも5秒間加える。



	附属書JA	附属書A	
※3	下向きの力 F1	490N	600N
	水平力 F2	20N	20N

前方安定性

椅子を前面の隣り合った2つの支点にストッパを当てて設置する。

安定性試験のための負荷装置で、椅子の座面の構造物の縁から60mm離れた位置に作用する垂直の力F1(※2)を転倒に繋がる可能性が最も高い点に加える。垂直の力が加えられる座面表面上の点から水平の外向きの力F2(※2)を少なくとも5秒間加える。



		附属書JA	附属書A
※2	下向きの力 F1	490N	600N
	水平力 F2	20N	20N

背もたれ傾斜機能付き椅子の後方安定性

椅子を支点にストッパを当てないで設置する。

独立した腰高さ調整が付いている場合は、最も不利な状態で設定する。

椅子に荷重用円盤(※4)を載せる。(円盤1枚当り:10kg)



	附属書JA	附属書A
※4	円盤11枚	円盤13枚

☆ボーケンで実施可能なJIS S 1206の試験

※一部のみ実施

試験項目	試験条件	試験内容	試験項目	試験条件	試験内容
前縁安定性	肘掛けのない椅子の側方安定性	背もたれ傾斜機能付き椅子の後方安定性	肘掛けの中心垂直力静荷重試験	足掛けの静荷重試験	足掛けの耐久性試験
前方安定性	肘掛け付き椅子の側方安定性	座面前縁の静荷重試験	肘掛けの前面垂直力静荷重試験	座面及び背もたれの耐久性試験※	キャスター及び椅子の脚羽根の耐久性試験
足掛け付き椅子の前方安定性	背もたれ傾斜機能のない椅子の後方安定性	座面及び背もたれの複合静荷重試験	肘掛けの側方静荷重試験	肘掛けの耐久性試験	(全17項目)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京生活用品試験センター | TEL:03-5669-1382 / FAX:03-5669-1387
大阪生活用品試験センター | TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

